マルチエージェント交通シミュレータ

狙い(顧客への提供価値)

安全技術を構築する上で、実際のリアルな交通環境を仮想空間として
再現し、その中に入り検証できるシミュレータの構築

技術の特徴

各エージェントが人状態・特性に応じた認知・判断を行い運転、
交通流から生じる事故の再現と支援の効果を仮想空間で検証

技術内容

交通シミュレーション

交通参加者
モデル

＋

環境情報

レスポンスモデル
・視認行動
・反応時間
・予防運転行動
・回避行動

VR検証環境

二輪RS　四輪DS　歩行者DS

実験環境（街全体で自由走行が可能）

安全安心ネットワーク支援(HMI)

HMI反応
モデル生成

施策有無による
差分データを取得

国/地域毎の運転行動原理の研究
文化、経済レベル、規制、国民性（特性）

タイ バンコクの複雑な交通状況も再現

得られる価値

・効果予測事故低減率/交通流変化
・エージェント同士の新たなインタラクション エッジケースの発見

HONDA